



# 認定看護師通信



2016年11月発行  
Vol.17

## 11月12日傷病者受入訓練が行われました！

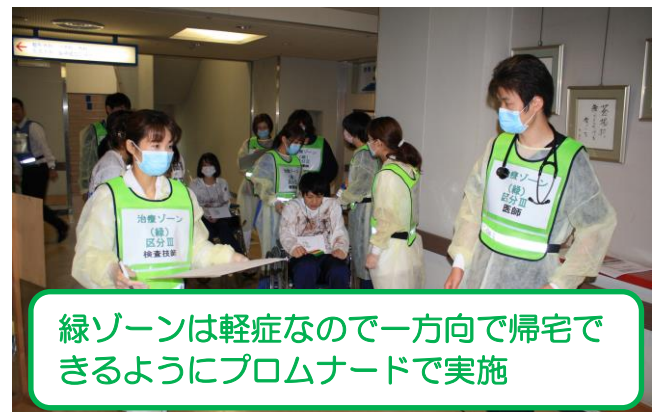
災害発生による傷病者の多数来院があった場合、いかに効率的に災害情報を共有し救護できるかを目的に毎年、傷病者受入訓練を行っています。今年は職員60人が参加しました。

4月14・16日に熊本地震を経験し、職員のみなさんも防災に対する意識が強くなったのではないのでしょうか？ 震災を経験したことでわかったことを踏まえて、今回の訓練では治療ゾーンを変更し、非常用コンセントが使用でき多数患者に対応できるように、西・東ブロックの待ち合いホールで実施しました。



玄関ロビーでトリアージ

ケガが多い黄色ゾーンは消毒やギプス処置が対応できる東ブロックエリアで！



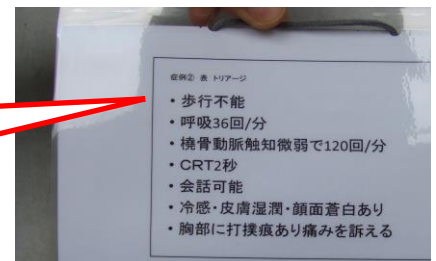
緑ゾーンは軽症なので一方向で帰宅できるようにプロムナードで実施

重症患者の赤ゾーンは輸液処置ができ、手術室やカテ室に近い西ブロックエリアで！



去年までは、患者の症状は有明高校衛生看護専攻科の生徒さんの演技力にお任せしていましたが、今回は症状や身体所見がイメージしやすいように患者情報を作成して訓練してみ

今まで訓練を受ける側として参加していました。今回、訓練開催の準備に携わり、第三者として参加し反省点や課題が見えました。今後はそれらを修正しながら訓練を実施・評価し、改善に向けて取り組んでいきたいと思えます。外来だけでなく、病棟、手術室、腎センター、ME、薬剤科、臨床検査、中放など院内の各セクションにおける緊急時対応訓練も必要ではないかと思いました。災害は突然に起こります。いつ起きても対応できるよう繰り返しの訓練と周到な準備が必要だと改めて感じました。参加された職員の皆様、お疲れ様でした！



- 症例名 赤 トリアージ
- ・歩行不能
  - ・呼吸36回/分
  - ・橈骨動脈触知微弱で120回/分
  - ・CRT2秒
  - ・会話可能
  - ・冷感・皮膚湿潤・顔面蒼白あり
  - ・胸部に打撲痕あり痛みを訴える



文責：救急看護認定看護師 下村雅美